

第2号議案

こうふ開府500年記念事業 第一次実行計画（案）

平成29年度 実行委員会 主催事業

事業名	実施時期	事業概要(抜粋)
カウントダウンイベント 500日前	平成29年 8月予定	500日後にこうふ開府500年当年(2019年)が始まることを周知する。また、カウントダウンボードを設置することで市内外の方や観光客にも「こうふ開府500年」の節目を浸透させる。
カウントダウンイベント 300日前	平成30年 3月予定	300日後にこうふ開府500年当年(2019年)が始まることを周知し、機運の醸成を図る。様々な催しが開催されるブレ年のスタートも宣言する。
甲府ラーニング・ スピーチ事業	平成29年度 から継続	甲府を愛する心は、先ずは甲府のことを知ることから始まり、芽生える。開府500年を契機として、子どもたちが、甲府のこと(周囲の山々や盆地の生い立ち、また甲府の歴史・文化・未来など)を学び、自らの言葉で話すことができるよう家庭・学校・地域等で取り組み、開府500年の様々なイベントなど晴れの舞台で発表する機会を創出する。
こうふ開府500年 リレーフォーラム 2017	平成29年 12月予定	甲府市に関わりの深い事象をテーマにシンポジウムやサミット、基調講演などをリレー(継続)的に開催し、甲府市の重層的な歴史を様々な角度から深く学び、甲府愛を醸成していく。
かふふの歴史パネル 展示巡回事業	平成29年度 から巡回継続	500年の歩みを学び、知ることのきっかけとして100年間の甲府市の様子、市民の表情などを写真や記事によるパネルで紹介する。懐かしさ、驚き、発見を提供しながら、先人が築いた甲府を学ぶ機会とする。
チャレンジ500 募集事業	平成29年度 予定	実行委員会が実施する開府500年の「500」にちなんだ事業を市民をはじめ全国から募集し、多くの方が参加できる事業につなげ、こうふ開府500年を周知する。
私の地域・歴史 探訪事業	平成29年度 から継続	開府500年を契機として、自らが住まう地域の地名をはじめ、歴史・文化・伝承などを掘り起こし、発見し、学び、教える機会を創出する。高齢者から小中学生にいたるまでの幅広い年代の方の参画を促し、後に小冊子を作成し、地区文化祭等でお披露目するなど、地域の歴史・文化財産として残し、活用していく。

平成29年度 実行委員会 実施プロモーション

事業名	実施時期	概要(抜粋)
ロゴマークを使用したツールの製作	平成29年度から継続	こうふ開府500年記念事業公式ロゴマーク及びキャッチフレーズを使用し、こうふ開府500年を県内外に周知する。
ポスター・リーフレットの製作	平成29年度から継続	公式ポスター及び周知用のリーフレットを製作し、甲府市の関連施設などに掲示し、県内外にPRを行う。また、県内外の周知イベント等にも活用する。
こうふ開府500年記念事業公式ホームページ	平成29年度から継続	公式HPを開設し、全国へこうふ開府500年記念事業の内容、実行委員会の活動、イベント告知、トピックス等を掲載し、周知する。
テレビ番組でのPR	平成29年度から継続	甲府の500年の歴史をテレビ番組を活用し、紹介する。
テレビスポット(CM)でのPR	平成29年度から継続	テレビCMを活用し、こうふ開府500年の周知を県内に向けて行う。
公用車・タクシー・自家用車等ステッカーによる周知事業	平成29年度から継続	身近に活用できるタクシー・公用車・自家用車を使用し、こうふ開府500年をPRする。
ラジオスポット(CM)でのPR	平成29年度から継続	ラジオCMを活用し、こうふ開府500年を周知する。
主要新聞広告によるPR	平成29年度から継続	新聞広告を掲載し、こうふ開府500年の周知を行う。
こうふ開府500年県外イベントPR	平成29年度から継続	首都圏甲府会・山梨県人会連合会・愛知山梨県人会等の総会が開催される会場に出向き、こうふ開府500年の周知を図る。また、やまなし推進機構、山梨県東京事務所、山梨県大阪事務所等が定期的にPRイベントを行う場所で、こうふ開府500年の周知を図る。

平成29年度 収支予算

収 入

【単位:千円】

科 目	本年度予算額	説 明
実行委員会収入	41,431	
補助金及び負担金	41,429	甲府市
協賛金及び寄附金	1	
その他の収入	1	
収 入 合 計	41,431	

支 出

【単位:千円】

科 目	本年度予算額	説 明
実行委員会費	41,431	
事務費	1,207	
旅 費	100	
需 用 費	419	総会等資料作成に係る用紙代等
役 務 費	145	郵便料等
使用料及び賃借料	543	総会に係る会場借上げ料
事業費	40,224	
旅 費	200	
需 用 費	700	各事業消耗品等
委 託 料	38,404	事業及びプロモーション業務委託
使用料及び賃借料	300	事業に係る会場借上げ料
負担金補助及び交付金	620	企画提案事業助成金
支 出 合 計	41,431	

平成30年度 実行委員会 主催事業(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	開催時期	事業概要(抜粋)
カウントダウンイベント 100日前	平成30年 9月予定	100日後にこうふ開府500年当年(2019年)が始まることを周知する。
市民みんなのパレード	平成30年 9月予定	100日前イベントに合わせ市民が参加し、見ることが出来るパレードを実施する。
前夜祭・オープニング イベント	平成30年12月 31日予定	こうふ開府500年を高らかに宣言する。武田氏による開府から500年。苦節と挑戦、発展を繰り返してきた甲府市を支えた先人達の努力に感謝し、正月というタイミングを大切にして「未来への飛躍を誓う機会」とする。
四季の賑わい 創出事業(冬)	平成31年 2月予定	節分の時期(大神宮祭)にあわせ賑わいを創出する。新たな冬の取り組みとして光マッピングと幕絵といった現代技術と伝統文化を融合させた「冬の祭典」をスタートする。 甲府市南部・小曲地区を中心に盛んなイチゴ農園をさらに県内外にPRするため、「甲府ストロベリー・フィールズ」と名付け冬の観光の目玉として観光客を誘客する。 1月～3月にかけて「ストロベリー・フィールズ・フェスタ」を開催する。ステージイベントや来場者プレゼントを行うと共にメディアを使用したPRやキャラバンなどのキャンペーンを実施、誘客を促進する。
KOFU DREAM CAMPUS	平成30年度 (通年)	こうふ開府500年を記念し甲府大使やスポーツビューロアスリートボードメンバー、甲府市出身の著名人らを「先生」に迎える。子ども達が未来への夢や希望を持てるようなカリキュラムとする。
こうふ開府500年 リレーフォーラム 2018	平成30年度 (通年)	甲府市に関わりの深い事象をテーマにシンポジウムやサミット、基調講演などをリレー(継続)的に開催し、甲府市の重層的な歴史を様々な角度から深く学び、甲府愛を醸成していく。
武田節まちなか メロディ事業	平成30年度 (通年)	JR甲府駅の発着ベルを「武田節」にして市民、観光客などに甲府に降り立った(帰ってきた)という実感をしてもらう(EX. 山の手恵比寿駅)。武田の街が耳でも実感できるよう、武田節のメロディをあふれさせる。
私のいちおし 甲府コンテスト	平成30年度 (通年)	甲府市各地から見える絶景や心に残る景色を、写真、絵画、絵手紙、水彩画、水墨画などで募集する。甲府市の風景を様々な”キャンバス”を通じて再発見することが目的。市外、県外の人たちにも募集をかけ、新たな視点での”景色の切り取り”を促す。甲府の素晴らしさを再発見する機会とする。

平成30年度 実行委員会 主催事業(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	開催時期	事業概要(抜粋)
こうふ御朱印 ぶらり旅事業	平成30年度 (通年)	甲府五山や善光寺などが持つ武田3代のストーリー性を普遍的な特色(価値)と位置づけ、甲府御朱印帳を手に市民や観光客が回遊できる環境を作る。
フォトロゲイニング 甲府(プレ)	平成30年度 予定(プレ) 平成31年度 予定	市内の寺院、史跡、公共施設を、時間内に数多くめぐるウォーキングゲーム。ゲームを通して、普段は気づかない歴史ポイントを再認識してもらうとともに、県外からの参加者には、甲府の魅力を知ってもらう機会となる。
戦国ヒルクライム INこうふ	平成30年度 予定(プレ) 平成31年度 予定	参加型スポーツイベントとして、人気の高い「自転車」による「ヒルクライム」レースイベントを開催する。

平成30年度 実行委員会 実施プロモーション(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	実施時期	概要(抜粋)
富士山5合目 出張プロモーション	平成30年 7月予定	富士山5合目は、夏山シーズンには海外からの観光客であふれかえる。出張ブースを設け、甲冑をまとった信玄公、サムライを配置し、チラシなどでPRするとともに記念写真を撮ってもらって、SNS経由で世界に拡散してもらう。
新聞を活用した シリーズ広告	平成31年 1月予定	新聞を活用し、シリーズ広告を掲載してこうふ開府500年の機運を高める。
こうふ開府500年のページ 新聞特集紙面での 事業周知	平成31年 1月予定	山梨日日新聞の紙面を使用し、特集紙面を開催期間中掲載する。
高速道路SAでのPR	平成31年 1月予定	高速道路の談合坂SAや主要SAなどで、チラシ配布やサイネージの利用を通してイベント事業を訴求する。
フロア広告を活用した PR	平成31年 1月予定	駅の乗客に対し、構内の床面に広告を掲載し、こうふ開府500年記念事業を周知する。
アドトラックを使用した 移動広告	平成31年 1月予定	トラックの側面に広告を表示して、街中を走らせ、こうふ開府500年記念事業を周知させる。
こうふ開府500年のページ 雑誌タイアップでの 事業周知	平成30年度 予定	ターゲットにあった雑誌に、こうふ開府500年記念事業や甲府の歴史を紹介し、観光客増加を図る。
NEXCO冊子N-DRIVE (エヌドライブ)活用	平成30年度 予定	NEXCO中日本が発行する雑誌とタイアップする。サービスエリア等で配布し、観光客にPRする。また、特設HPで冊子内容を紹介する。
60秒ラジオスポットによる PR	平成30年度 予定	60秒(通常20秒)という長尺のストーリー性のある内容のCMを全国から公募し、完成度の高いCMを制作し、放送する。全国から公募する事により、こうふ開府500年を周知する。
こうふ開府500年 動画・CMの制作	平成30年度 予定	平成28年度に制作したCMをリニューアルし、テレビCMやネット動画として活用し、こうふ開府500年を周知する。

平成31年度 実行委員会 主催事業(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	開催時期	事業概要(抜粋)
四季の賑わい 創出事業(春)	平成31年 4月予定	二十四将騎馬行列(武田神社例大祭)に関連付けて新たな賑わいを創出する。甲府市内の最適地に広い範囲で芝桜を植え、地元住民の目を楽しませると同時に春の目玉として観光客を誘客する。 ・花の色の違いを利用して武田菱のデザインを作り、訪れる人の目を楽しませる工夫をする。(現状の候補地:荒川河川敷、曾根丘陵など。ある程度の広い面積が確保出来る場所を選定)
四季の賑わい(春) 武田通り競走大会	平成31年 4月予定	4月12日に行われている「武田神社例大祭」で繰り広げられる「二十四将騎馬行列」を前に競走大会を開いて、新たな春の賑わいを創出する。武田氏の城下町の象徴である長い傾斜面を一気に駆け上がるイベントにする。
四季の賑わい 創出事業(夏)	平成31年 8月予定	夏は小江戸甲府の夏祭りに連動して賑わいを創出する。甲府を山梨の鎌倉に・・・甲府五山を中心とした市内の寺社に紫陽花を植え、紫陽花の名所として市内外の観光客を誘客する。 ・「お寺と紫陽花」の名所と言えば鎌倉だが、それに追随する「小江戸甲府の紫陽花寺」のイメージを広く浸透させる。 ・6月下旬から7月上旬にかけて「あじさい祭り」を開催し、紫陽花が名所の寺社マップを作りスタンプラリーを実施する。 ・紫陽花の花言葉「家族の結びつき」をテーマに掲げ、家族で訪れた観光客向けのグッズ配布などを行う。
四季の賑わい(夏) 芸能ヒラキ フェスティバル	平成31年 8月予定	江戸時代に甲府でも盛んだった芸能を気軽に体験し、江戸時代の甲府に想いを馳せると共に伝統芸能に親しむ機会とする。
プロジェクション マッピング事業 (甲府城)	平成31年 8月予定	プロジェクションマッピングを使い、甲府市の夕方から夜を彩り、賑わいを創出する。夜空に幻想的に浮かび上がる光や霧、ウォーターカーテンなどを利用して甲府城を再現し、訪れた人に城下町・甲府を肌で感じてもらう。
四季の賑わい 創出事業(秋)	平成31年 10月予定	秋は甲府大好きまつりに連動して賑わいを創出する。(可能ならば舞鶴城公園などに菊を1万本植え、地元有志と共同で花を育てる。 ・菊の名所として毎年住民の目を楽しませると同時に、秋の目玉として観光客を誘客する。 ・11月頃の満開時期を見越して、えびす講祭りなどとの連携を図る。 ・独自に「菊祭り」を実施し、フォトコンテスト、絵画コンクール、俳句コンクールを同時開催し文化事業の一面も持たせる。
記念モニュメント 設置事業	平成31年 10月予定	記念モニュメントの設置により、未来の創造を誓う場とするだけでなく、未来の甲府市民が我々の足跡を振り返ることができる場とする。デザインは市民などから公募する。
NEXT100 宣言イベント	平成31年 12月予定	甲府市の500歳の誕生日を市民をあげて祝う。「フィナーレ」というよりも、むしろ次の500年への飛躍を改めて誓う場とする。また、2年後に控える「生誕500年へのバトンタッチ」を宣言するイベントにする。 ■クロージングで語り部による500年の回想(12月)
こうふ開府500年 リレーフォーラム 2019	平成31年度 (通年)	甲府市に関わりの深い事象をテーマにシンポジウムやサミット、基調講演などをリレー(継続)的に開催し、甲府市の重層的な歴史を様々な角度から深く学び、甲府愛を醸成していく。
こうふ開府500年 記念式典	平成31年度 予定	カウントダウンイベントとは別にこうふ開府500年を祝う記念式典を開催する。

平成31年度 実行委員会 主催事業(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	開催時期	事業概要(抜粋)
未来へつなげ 甲府の架け橋 タイムカプセル事業	平成31年度 予定	こうふ開府500年(市制施行130年)を記念し、現在から未来へつなげる事業として実施する。甲府市民や各種団体、自治会などに呼びかけメッセージを決める。
こうふ開府 500年記念 記念歌舞伎 甲府公演	平成31年度 予定	日本の伝統芸でもある歌舞伎公演を誘致し、こうふ開府500年記念事業として文化芸術への関心を高める。
こうふ開府 500年記念 オーケストラ・吹奏楽 甲府公演	平成31年度 予定	オーケストラ・吹奏楽など有名指揮者率いる特別演奏会等のプロの舞台公演を誘致し、こうふ開府500年記念事業として文化芸術への関心を高める。
こうふ開府 500年記念 ミュージカル甲府公演	平成31年度 予定	ミュージカルや演劇等のプロの舞台公演を誘致し、こうふ開府500年記念事業として文化芸術への関心を高める。
(こうふ開府500年) ギネスチャレンジ事業	平成31年度 予定	こうふ開府500年を記念したギネスチャレンジ。子どもを中心に家族や友人と参加できる「甲府らしさのあるギネス登録」をめざす。甲府ならではの話題性も加味したチャレンジをする。
VF甲府 こうふ開府500年 記念試合	平成31年度 予定	県内におけるキラースポーツコンテンツであるプロサッカーチーム・ヴァンフォーレ甲府による特別記念試合を開催して甲府スポーツ愛を醸成する。
スポーツフェスティバル 2019	平成31年度 予定	甲府市の小中学生の体力低下や運動不足解消、地域住民の健康づくりを進める。また、市民1人が1つ以上のスポーツに親しみ、スポーツを愛し、スポーツを通して体力の向上と健康の増進を図り、市民が誇れるスポーツのまちづくりに取り組むきっかけとして、スポーツフェスティバルを開催する。
障がい者スポーツ 体験事業	平成31年度 予定	東京オリンピックを前に、障がい者への理解・交流を深め、指導員の養成及び支援をおこなう。

平成31年度 実行委員会 実施プロモーション(検討案:今後、専門部会等で検討していく。)

事業名	実施時期	概要(抜粋)
アドピラー(柱巻)によるPR	平成31年 4月予定	首都圏・新宿駅等の通行量の多い地下街の柱に、こうふ開府500年記念事業を紹介する柱巻を設置し、事業をPRする。
デジタルサイネージによるPR	平成31年 4月予定	通行量の多い新宿駅の地下街や渋谷のスクランブル交差点にあるデジタルサイネージの利用で、こうふ開府500年記念事業を紹介する。